

# 限定された方向にしか音が広がらないスピーカー

## HSS 超指向性スピーカー

欲しい人に、最適なタイミングで確実に情報を届けたり、思いもしないところで触れる演出をすることで、生活者が積極的に関与するプロモーションとなる。これを音声による情報提供で実現できるツール、それがHSSの超指向性スピーカーだ。

### 聞かせたい人だけに情報を届けられる

通常のスピーカーが、放射状に音が広がるのに対して、この超指向性スピーカーは、向いている方向だけにしか音が伸びないのが大きな特徴。実際に聞いてみると、本当にスピーカーが自分に向いているときにしか音がしないので、非常に不思議な感覚を味わうことになった。また、直接音を飛ばすだけでなく、壁の反射を使うことも可能。そうすると、あたかも壁から音が鳴っているような感じを受けた。

日本では最初に美術館での展示説明音声を流すために活用された。また、企業では、トヨタ自動車が出展の「MEGA WEB」と池袋の「Amlux東京」の二つのショールームで使用。6カ所のコーナーを異なるBGMで演出した。複数の音声も流れていても音が混じることなく、それぞれ違った雰囲気を醸し出していた。

また、もう一つの特徴が、耳元で音が



向いている方向にしか聞こえない、HSSスピーカー。壁に音を反射させて活用することもできる。



UR賃貸は新宿駅での展開で使用。突然「心の声」が耳元から聞こえるので、驚く通行人が多かった。



旗艦店では、エスカレーターに乗っている間中、ブランドをイメージさせるユニークな英語のセリフが聞こえる。

鳴っているように聞こえること。この特性を生かした交通広告・OOHも登場している。最近では、UR賃貸が「心の声」を聞かせるという企画でこのスピーカーを活用。「新宿駅地下に『こんにちは』と書かれたポスターを掲出。スピーカーから『えーっと、誰だっけ？とりあえず、挨拶しとくか』など5種類のナレーションを流した。耳元で突然ささやかれたような感じなので、びっくりして周囲を確認する人も多かった」(I&S BBDO 藤野氏)。通常、駅の広告展開では安全上の理由から、音に対して規制されるケースが多い。しかし、限定した場所でしか聞こえないということで、前述のUR賃貸のように使用が許可された例も複数ある。

### エスカレーターに乗った瞬間英語のセリフが聞こえる

こうした事例のほかにも、店舗演出として活用しているのが、4月に「ギンザ・グレース」にオープンしたDIESEL(ディーゼル)の旗艦店だ。1階から2階に上がるエスカレーターに乗ると、突然英語の

声が聞こえてきた。そして乗っている間中その声が続き、降りるとずっと聞こえなくなってしまった。エスカレーターを上がりきった場所にスピーカーが設置されており、1階に向けて音を出していたのだ。

ディーゼルジャパン 広報宣伝本部の担当者は「新しいフロアに向かう期待感やワクワク感を演出した。来店客からも“あれっ？これなに？”という反応がある」と語る。

生活者に「なんだろう？」という驚きを与えられるので、広告やイベントだけでなく、売り場の目の前にいる人だけに確実にメッセージを届けられるという意味で、インスタでの活用も効果が高い。今後、この超指向性スピーカーの用途がどう広がっていくのか楽しみだ。

【協力】DIESEL GINZA  
東京都中央区銀座3-2-15ギンザ・グレース  
TEL:03-3538-1978

●お問い合わせ  
株式会社HSS Japan  
TEL : 03-3545-5840  
URL : <http://hssjapan.com>  
E-mail : [info@hssjapan.com](mailto:info@hssjapan.com)